

信州上田学A 2023 第3回 (2)

蚕都を未来に活かす

世界を救った蚕種

2023年10月19日



前川道博

長野大学・企業情報学部

真珠湾前年、絹の靴下は日本生糸？



映画『Broadway Melody of 1940』から

1940年、その時上田は？

- ・『上田市史』出版 皇紀二千六百年記念刊
序文の最後に 昭和十五年庚辰歳正月
興亞新秩序建設に拳国邁進の日
上田市長 伊藤伝兵衛



世界恐慌1929年、シルクは日本産？



映画『Broadway Melody of 1929』から

外国に宣伝された上田の蚕種

『日本博覧図』(1897) 所載〔英語記載〕
(上塩尻／佐藤尾之七邸宅)



〔図版:上田市立博物館所蔵『日本博覧図』(1897)『信州上田デジタルマップ』から転載〕

「佐藤尾之七邸宅」部分拡大



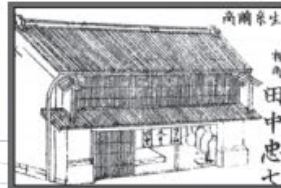
1928年、その時上田は？

蚕都上田

〔明治～昭和〕
市街図
歴史・文化財マップ

<http://www.santo-ueda.jp/>

真田氏の城下町であった上田市は、北国街道の宿場町でもあった。呉服屋などの有力な商家や繭糸商が海野町、原町、柳町などに軒を連ねていた。江戸時代後期以降の蚕種業、製糸業の発展によって、市制を施行した上田市(1919年～)は、蚕都と呼ばれるようになった。市街地の周りには製糸業を営む常田製糸場、小宮山製糸場、長峯製糸場など7つの工場や上田蚕種株式会社、小県蚕業学校、上田蚕糸専門学校が立地していた。また上田駅前には上田倉庫(諏訪倉庫)、上田城址には長野県蚕業試験場上田支場があった。さらに第十九国立銀行をはじめ、信濃銀行(上田銀行)など蚕糸業を支えた多くの銀行が立地していた。これらの銀行は製糸家や繭糸商、有力商人によって支えられていた。民衆のための娯楽施設が数多く建てられ、市街地と養蚕や製糸業の盛んな塩田、丸子、真田を結ぶ鉄道の開設により、市街住民だけでなく製糸女工など近郊から訪れる多くの人々で賑わった。



生糸繭商 田中忠七
「野史」の名で知られた繭糸商。その財力で「大神宮」を寄進した。



信陽館製糸場
明治22年(1889)繭糸商長岡万平が建てた上田最初の器械製糸場。排葉当初より蒸気機関を採用するなど上田・小県地方の製糸業をけん引した。大正6年(1917)より小宮山製糸場。(現武田味噌工場)



現存
吾妻国神社(大足神社附養蚕の守護神・稚産堂神を祀った神社。この地域の繭糸家関係者が昭和16年(1941)に建てた。吾が窟になる直前(5分)の大きさ(63mm)と同じ大きさの女神像が安置されている。

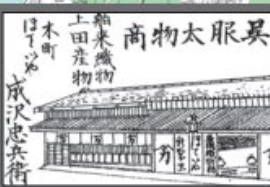


現存
繭糸商 小宮山滝兵衛・善四郎
信陽館製糸場を引き継ぎ、小宮山製糸場・再綿場信全社を経営した。(現そば屋お西)

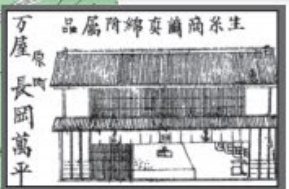


現存
三吉米照胸像
小県蚕業学校(明治25年(1892)創立)の初代校長。上田蚕糸専門学校教授もつとめた。日本の蚕糸業の近代化に多大な貢献をした。(上田城跡公園内)

信濃繭糸株式会社
上田の繭糸商と教育によって大正11年(1922)に設立された繭糸の売買や保管を行う会社



呉服太 成沢忠兵衛
海野町にデパート「ほていや」を経営するまでに発展した。



繭糸商 万屋 長岡萬平
信陽館製糸場を設立した。



現存
旧上田市立図書館

大正4年(1915)、上田男子小学校明治記念館として建設。アールヌーヴォーの流れをくむ建構。大正12年(1923)から昭和45年(1970)まで上田市立図書館。帝都の経済力を背景に革新的・先駆的な気風が支配した時代



現存
上田 成沢忠兵衛

<https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=125300>

蚕都上田の絶頂1928年→恐慌

1890 1900 1910 1920 1930

明治 大正時代1912- 大正 昭和時代1926-

- 1884明治17-1886明治19松方デフレにより生糸輸出大きく低迷
- 1893明治26信越線全通
- 1888明治21信越線直江津-軽井沢間開通
- 1884明治17「原紙有毒事件」三吉米熊、無害を立証
- 1891明治24全国台紙販売300万枚うち長瀬村153万枚余
- 1904明治37-05明治38日露戦争
- 1902明治35線 / 井線全通
- 1905明治38中央線岡谷駅開業
- 1914大正14-1918大正17 [欧]第一次世界大戦 [日・米]大戦景気
- 1919大正18上田市制実現、国庫補助を獲得し水道事業着工
- 1923大正12関東大震災
- 1929昭和4世界恐慌
- 1933昭和8 国際連盟脱退
- 1927昭和2 取金融恐慌

器械専用一代交雑種へ移行

- 1914大正13片倉組松本製糸場今井五介、購買上前提に一代交雑種無料配布 東京岸部農家ほか上田蚕糸・小県蚕糸業。以降急速に普及
- 1917大正16「上田蚕種株式会社」設立《日本最大規模》
- 1920大正19桑園面積、長野県全国一 上小は県トップ
- 1925大正14「長野県蚕種製造家番付」大正十四年度製造額二千枚以上の者 (東張出横綱) 松本市片倉製糸紡績 (東横綱) 塩尻村藤本蚕業 (西横綱) 上田蚕種 ほか塩尻村30組番付入
- 1929昭和4「上田蚕種株式会社」設立《日本最大規模》
- 1929昭和4 発起人: 中島精一・佐藤尾之七・倉沢運平・工藤善助・笠原善吉・依田社・小川組・常田館など 一代交雑種・冷蔵種・人工ふ化種 資本金25万枚地14千坪 生産高20万枚

「蚕種王国塩尻村」の隆盛

- 1921大正10塩尻村、冷涼地長野の蚕種人工ふ化成功。以後製造始める
- 1923大正12一代交雑種製造一般化。長尾や屋久島・八丈島でも生産
- 1924大正13北塩尻冷蔵運送開始

北塩尻駅開業

- 1924大正13北塩尻冷蔵運送開始

日本の生糸輸出量世界の7割

- 1919大正14製糸工場上田地域に広がる 川辺千曲館・浦里川西社・北信館など21社
- 1916大正11「常田製糸場」上田町で発展 従業員1032人、全数90.4は町全体の約70%
- 1919大正14下村亀三郎、初代丸子町長就任
- 1913大正8蚕業界の実力者工藤善助 依田社二代目社長就任し業務拡充
- 1918大正13工藤善助・金子行徳、信濃絹糸創業。依田社副蚕糸を原料の紡績業
- 1921大正10依田社、海外向け着色PR映画制作
- 1926昭和1丸子町人口、明治元年の5.4倍に。男女比1:2
- 1929昭和4別所温泉の旅館、全て内湯に
- 1930昭和5郵管平PR。(スキー)シュナイダー
- 塩尻村馬場直次郎ら映画撮影に協力 (県下初のハーマニカ楽団も)
- 1928昭和3信濃銀行(上田町)第十九銀行に次ぐ第
- 1929昭和4別所温泉の旅館、全て内湯に
- 1930昭和5郵管平PR。(スキー)シュナイダー
- 塩尻村馬場直次郎ら映画撮影に協力 (県下初のハーマニカ楽団も)
- 1928昭和3信濃銀行(上田町)第十九銀行に次ぐ第

昭和恐慌

- 1930昭和5 昭和恐慌
- 前・生糸価格暴落
- その後、製糸業が蚕種業を吸収。戦後、国内蚕糸業は、合成繊維の普及・国際価格競争などにより衰退する

蚕都上田

業社)、高値取引「拜見なし」

減少 人2745人超、地域全体が潤う C横浜で蚕種大量焼却 社)結成。社長佐藤八郎右衛門。国内販売・健全志向 会社も以後国内向けに専念

製糸場設立

片倉兼太郎・平野村 初代笠原房吉、器械製糸場

出荷高、県の51%

- 1885明治8上小生糸生産高、県の14%に縮小 諏訪地域などへの出荷に傾く
- 1889明治22下村亀三郎、丸子に器械製糸組合「依田社」設立
- 1885明治8上小生糸生産高、県の14%に縮小 諏訪地域などへの出荷に傾く
- 1889明治22下村亀三郎、丸子に器械製糸組合「依田社」設立

大屋駅開業

●1889明治22下村亀三郎、丸子に器械製糸組合「依田社」設立

「糸の町丸子」の隆盛

●1918大正13丸子町人口、明治元年の5.4倍に。男女比1:2

●1929昭和4別所温泉の旅館、全て内湯に

●1930昭和5郵管平PR。(スキー)シュナイダー

●塩尻村馬場直次郎ら映画撮影に協力 (県下初のハーマニカ楽団も)

●1928昭和3信濃銀行(上田町)第十九銀行に次ぐ第

丸子町駅開業

- 1918大正13丸子町人口、明治元年の5.4倍に。男女比1:2
- 1929昭和4別所温泉の旅館、全て内湯に
- 1930昭和5郵管平PR。(スキー)シュナイダー
- 塩尻村馬場直次郎ら映画撮影に協力 (県下初のハーマニカ楽団も)
- 1928昭和3信濃銀行(上田町)第十九銀行に次ぐ第

小県蚕業学校開校

- 1885明治8山極勝三郎ら在京上小関係者「上田郷友会」会報発行。現も継続 蚕種伝習生受け入れ
- 1893明治26上田町本籍約15千人に加え 寄留の住民登録7千人を超える
- 1885明治8山極勝三郎ら在京上小関係者「上田郷友会」会報発行。現も継続 蚕種伝習生受け入れ
- 1893明治26上田町本籍約15千人に加え 寄留の住民登録7千人を超える

「上田蚕糸専門学校」設立

- 1910明治43「上田蚕糸専門学校」設立 《日本初官立蚕糸学校》初代校長針塚長太郎
- 1916大正(1930)「信州婦人夏期大学」別所村 常楽寺
- 上田市街地、約60棟48店舗の にぎわい
- 「全国波及」児童自由画・農民美術運動 神川村 金井正・山崎勝蔵
- 1919大正14村青年会編集「塩尻時報」以降上小町村続々独自発行
- 1919大正14「蚕都新報」・1920大正15「蚕糸」月間5000部
- 1921大正10「全国波及」生涯学習「上田自由大学」
- 1929上田蚕糸専門学校 講堂 (現信州大学福祉学部講堂)
- 松坂屋・三越・高島屋、上田での 出張販売好調。通販も

観光開発

- 1929上田蚕糸専門学校 講堂 (現信州大学福祉学部講堂)
- 松坂屋・三越・高島屋、上田での 出張販売好調。通販も

1884明治17「全国一」金融機関総数、銀行8・類似会社83

- 1885明治8《唯一の蚕糸商況情報源》「銀行通信録」上田通信
- 1894明治27《商用全国初・蘭の乾燥保管》上田倉庫

1894明治27《商用全国初・蘭の乾燥保管》上田倉庫

●1894明治27《商用全国初・蘭の乾燥保管》上田倉庫

カイコのタマゴが世界を救う

1840-50頃
欧州蚕の卵壊滅

1859~
生糸輸出

1865~
蚕の卵輸出

1914~18
第1次大戦

1910s~
米国・絹の靴下



救援!
欧州蚕の卵渴望
生糸輸入で我慢する

救援!
救世主
蚕の卵遂に!

救援!
大戦で
国壊滅

救援!
米国で
絹需要増大

『蚕糸王国信州ものがたり』



長野県発展の源流は、
すべて「蚕」にあった。

蚕糸王国信州ものがたり
(信毎選書)

阿部勇編著

分担執筆 前川道博

第5章 ポスト蚕糸業

定価1,400円(税別)

カイコのタマゴからキモノまで

蚕糸業

蚕の卵
(蚕種)



まゆ
(養蚕)



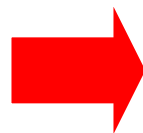
生糸
(製糸)



製品

蚕の卵

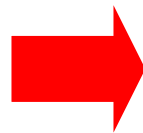
まゆ



生糸

絹織物

くずまゆ



紬

キモノ

その他

蚕種製造＝交尾した蛾の卵を取る



上田蚕種で撮影



藤本蚕業歴史館の展示

これがカイコの卵

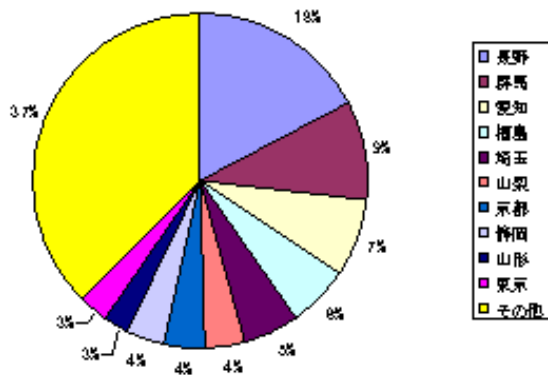


生まれたばかりのカイコ(蟻蚕 = ギサン)

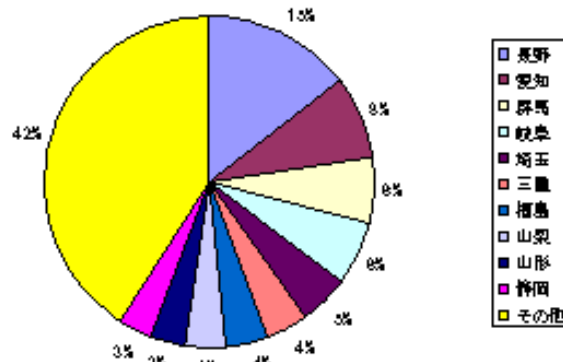


蚕糸王国信州・図抜けた日本一

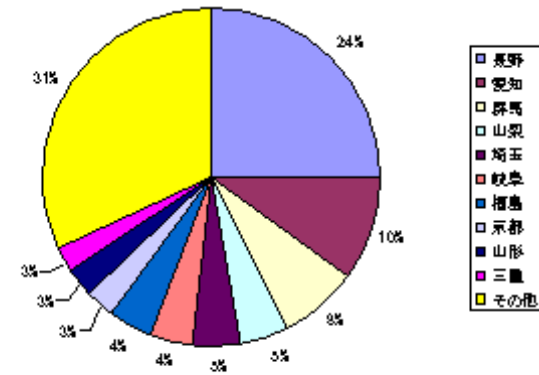
蚕種製造額



繭産額(養蚕)



生糸産額(製糸)



- 1 長野 17.6%
- 2 群馬 9.4%
- 3 愛知 7.4%

- 1 長野 13.8%
- 2 愛知 7.6%
- 3 群馬 6.1%

- 1 長野 25.0%
- 2 愛知 9.9%
- 3 群馬 7.6%

蚕糸王国だった長野県

長野県はかつて蚕糸業を誇り、大正中期から昭和初期の最盛期には全県の8割を蚕糸業並びに関連産業が占めていた。(『エラベルNagano 2017』)

産業の栄枯盛衰

百年前・前後の数十年

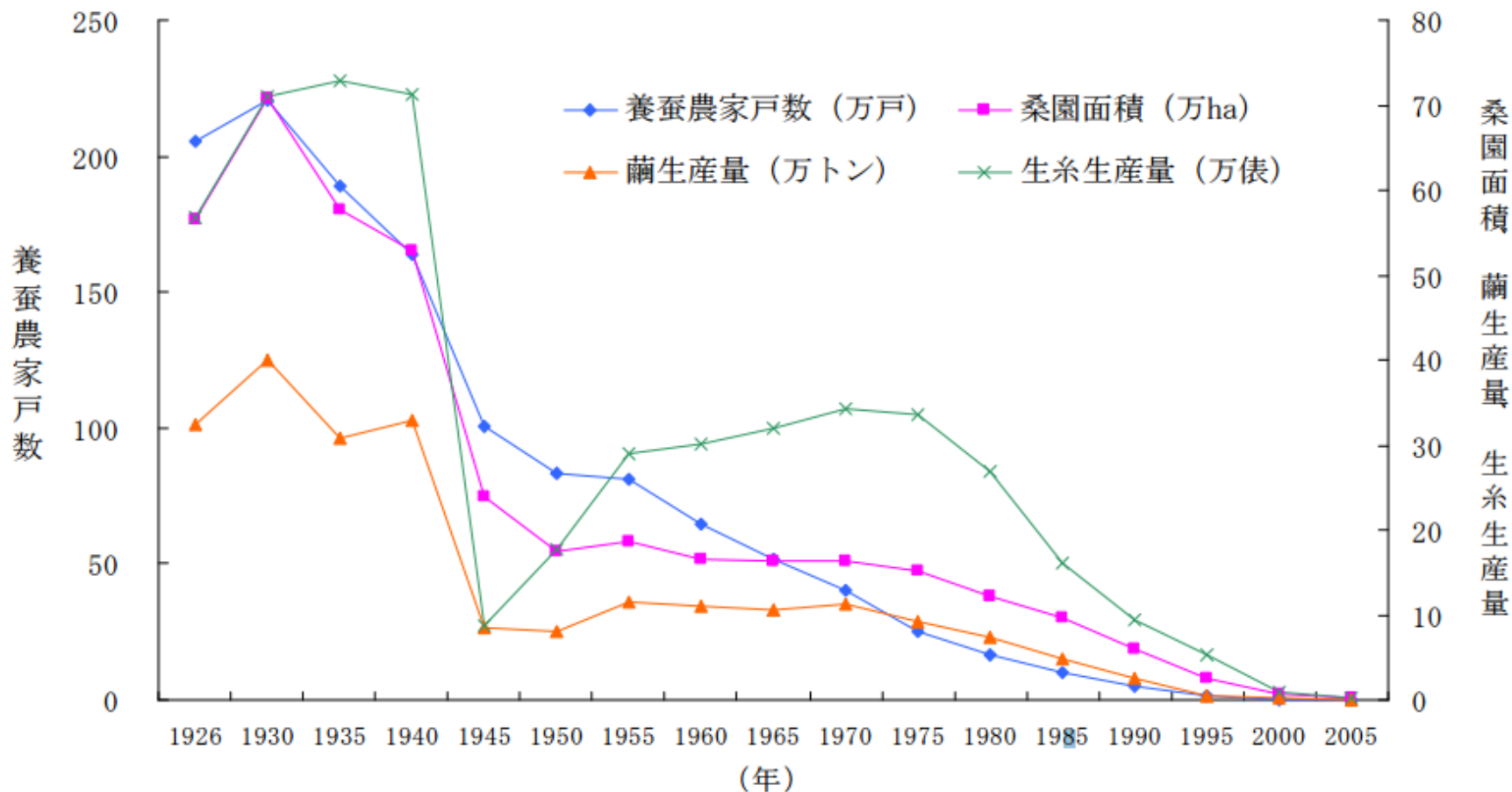
蚕糸王国
国の基幹産業を牽引

戦争

過去・現在・未来

ポスト蚕糸業
蚕糸業の転移と変質

日本の生糸生産の長期推移

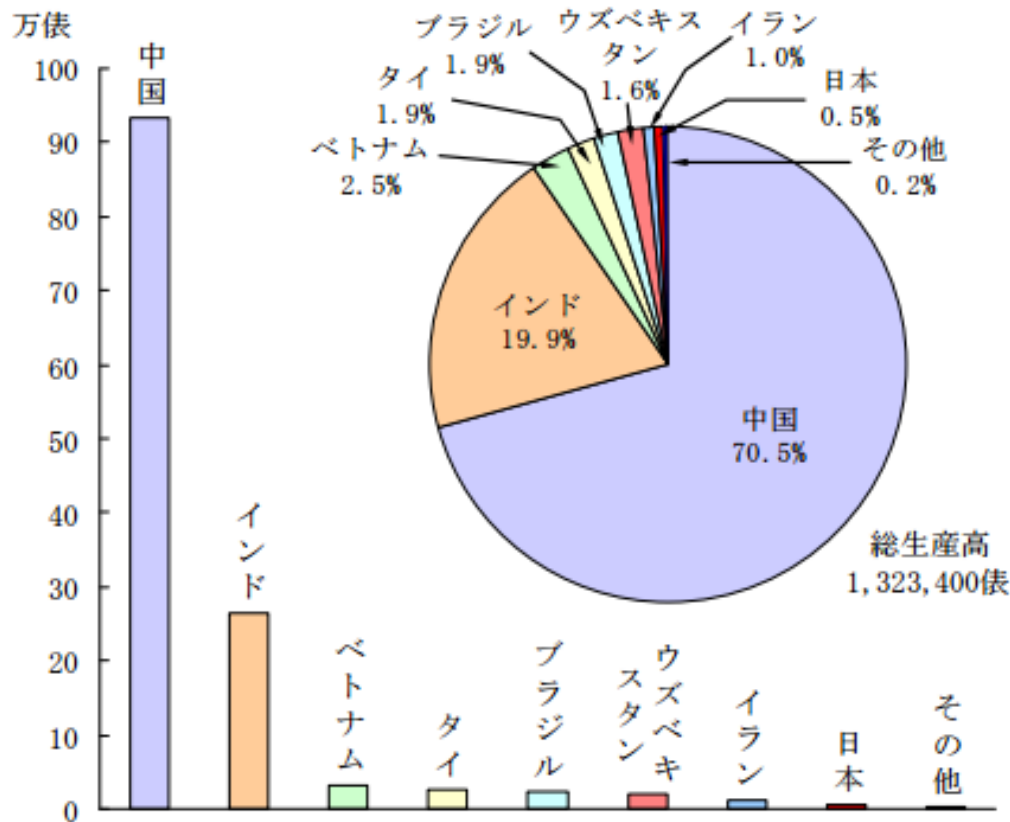


日本における養蚕業の推移(「養蚕統計」,「蚕業に関する参考統計」,「蚕糸統計月報」より)

蚕業技術研究所「日本の養蚕業の変遷」から転載

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/yousan.html

世界の生糸生産の状況 2001年



1-11 図 各国の生糸生産状況 (2001年)

(独立行政法人農畜産業振興機構「シルク情報」より)

蚕業技術研究所「養蚕 第1章 養蚕と養蚕業」から転載

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/yousan.html

日本にあったシルクロード 信州～横浜～欧州・米国

平成23年度長野県地域元気づくり支援金事業



信州シルクロード： 陸路で碓氷峠を越える



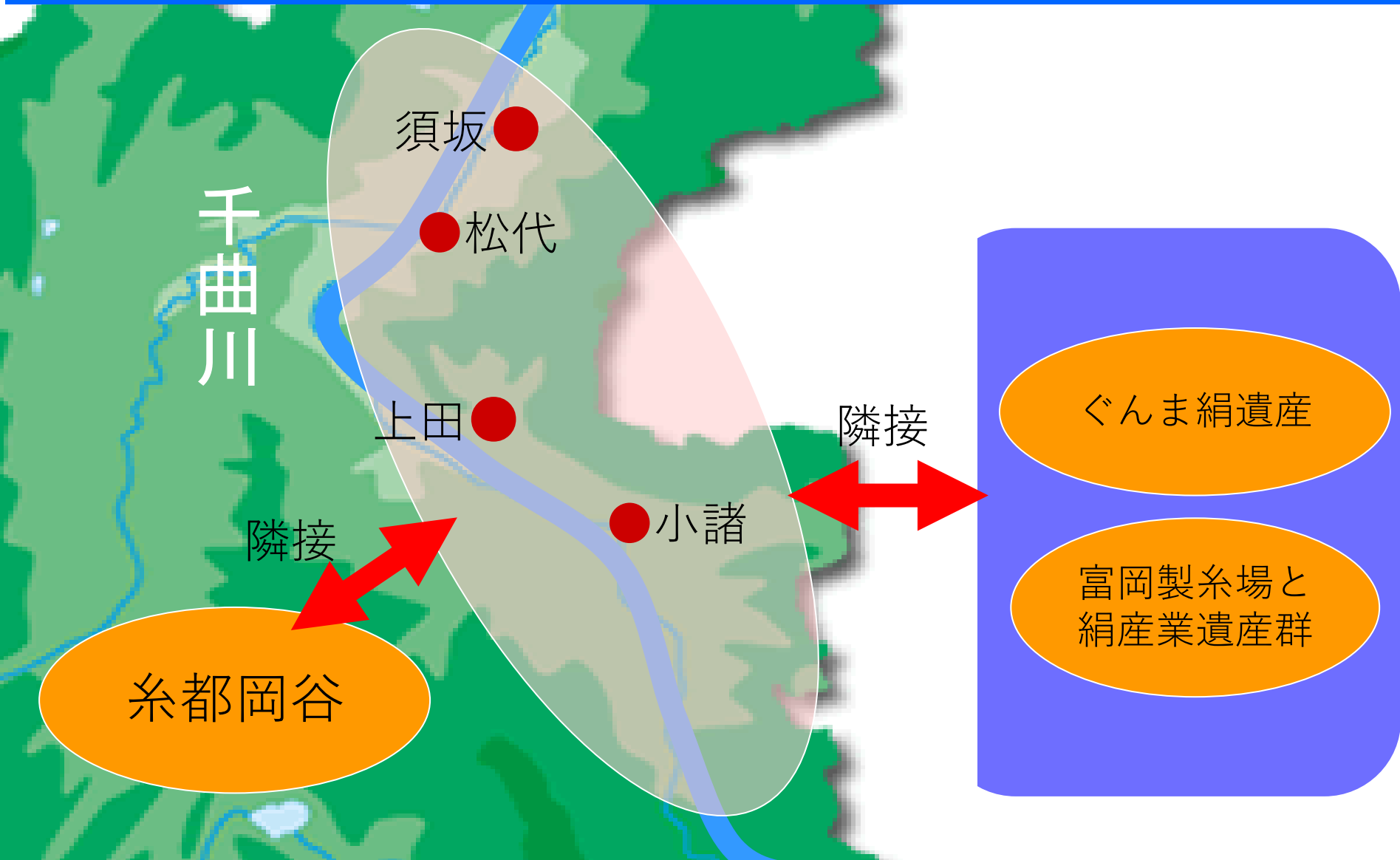
信州シルクロード： 倉賀野で生糸を船に積み換える



信州シルクロード： 利根川を經由し横浜へ



千曲川ライン＝蚕糸業ベルト地帯



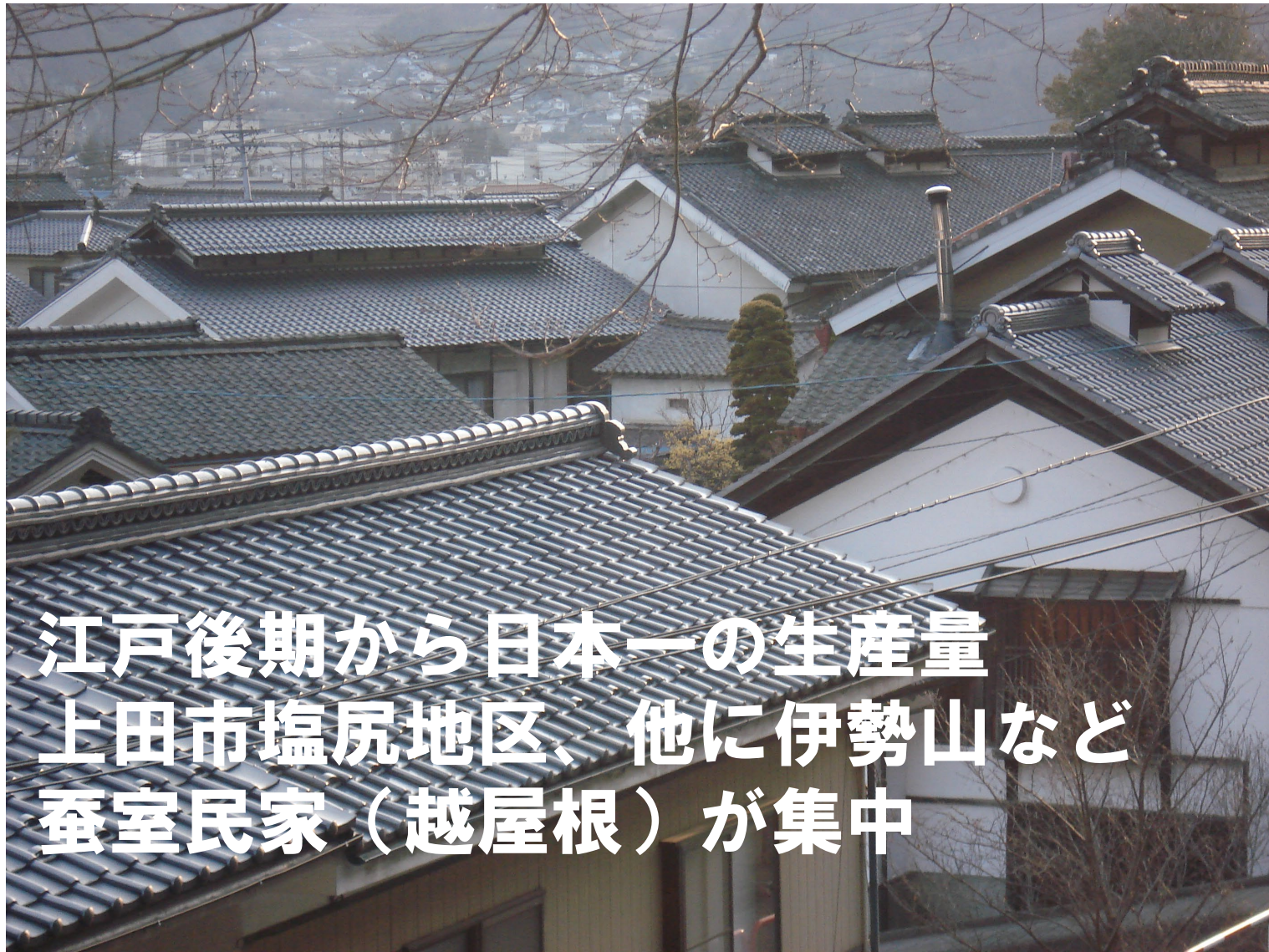
風穴は世界を救う 小諸・氷風穴



氷風穴 1872年創設 高橋平四郎

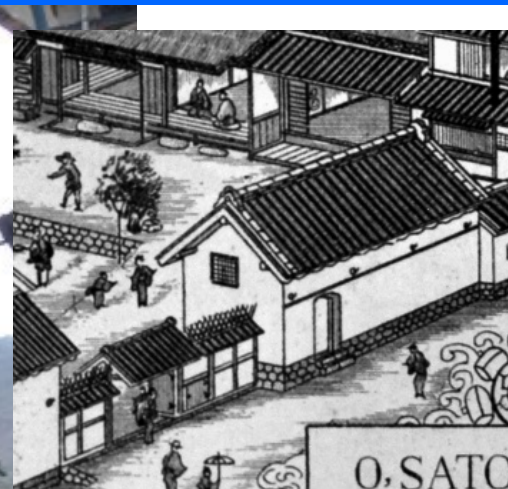
上州とのつながり。蚕種冷蔵は国内最大級の規模。

蚕種郷：上塩尻 蚕室民家の家並



江戸後期から日本一の生産量
上田市塩尻地区、他に伊勢山など
蚕室民家（越屋根）が集中

蚕種郷：上塩尻 蚕室民家



国指定有形登録文化財「佐藤家住宅(三ツ引)」2021年登録(旧佐藤尾之七邸宅)

蚕種郷：上塩尻 風情ある小路



蚕種郷：上塩尻 桑園の段々畑



蚕種郷：別所温泉



蚕種製造家 倉澤運平

Umpei was born in Bessho, Nagano Prefecture at the end of the Edo era in 1866. He played an active role in production of silkworm eggs at the time when silk industry was a major foreign exchange earner for Japan. The basic point for silk industry is rearing silkworms which are disease-resistant and produce high quality cocoons. For this purpose, it was necessary to produce good quality silkworm eggs, and sericulturists across Japan worked hard on this.

In the latter half of the Meiji era (1868-1912), Umpei built the Korizawa Cold Storage (Korizawa Fuketsu) halfway up Mt.Ogami located at the back of Bessho, to store silkworm eggs and adjust the hatching timing to enable cocoon production in autumn.

"Fuketsu" is a natural storage facility making use of cool air produced by wind passing through rock crevices in the mountain. Silkworm eggs were stored in this storage and were incubated in summer and autumn. The hatched larvae were called "summer silkworms" and "autumn silkworms" respectively.

Umpei devoted his attention to producing autumn silkworms. After around the 3rd year of Taisho (1914), he succeeded in creating bivoltine silkworms called "Nikasei Shinhaku", a variety which produced two broods in a season. It was authorized by Nagano Prefecture.

Mulberry trees grow very quickly after being pruned, enabling farmers to harvest leaves to feed silkworms for a longer period. It was possible to rear silkworms as many as five times a year between spring and the end of autumn. Sericulture brought more cash than rice cultivation, and therefore sericulturists in Nagano Prefecture were relatively wealthy.

Umpei's rearing house was designed mainly to be suitable for autumn silkworms. "Fatten the worms with mulberry leaves, make them strong by ventilating air" was the motto made by Isaka Naokazu, one of Umpei's apprentices. In the basement was a furnace which sent hot air up to the first floor to incubate silkworm eggs.

After they hatched into larvae, they were fed large amount of mulberry leaves and further fed on the second floor. Mulberry leaves were stored in the basement cellar cooled by the stream flowing beside the facility.

Umpei died in 1934 at the age of 69.

Written by Niitsu Arai (Translated by Kurasawa Takako)

August 1, 2016



繭から生糸を巻き取る運平

Umpei reeling silk off a cocoon

蚕種製造に一生を捧げた

倉澤運平の



Silkworm Rearing House
of Kurasawa Umpei,
who dedicated his life to
sericulture

利用した自然の冷蔵庫で、ここに保存された蚕種を夏秋に孵化させ夏蚕・秋蚕とよびました。運平は秋蚕の製造に熱中し、大正三年以降に長野県指定の「二化性新白」を生み出しました。桑の木は、切られるとすぐにまた成長するためその葉を採って蚕の餌にできるので、春から晩秋まで五回も養蚕が可能で、稲作より収入が多く、このため信州の養蚕農家は豊かでした。この蚕室は秋蚕飼育を中心に、「桑で太らせ、空気で強く」(運平の弟子猪坂直一の標語)をモットーとした蚕室で、地下ではストープで温めた空気を二階に送って蚕種を孵化し、成長した蚕は二階でさらに育て、その餌の桑の葉は、蚕室の脇を流れる川の水を利用した地下の保存庫に保存しました。

(倉澤運平、慶応二年七月一〇日)

昭和九年九月五日、享年六十九歳)

平成二十八年八月二日、新津新生記

蚕種郷：別所温泉 倉澤運平の蚕室



蚕種郷：別所温泉 氷沢の風穴



近代的なホテルの先駆 ホテル花屋



近代的なホテルの先駆 ホテル花屋



上田蚕種株式会社

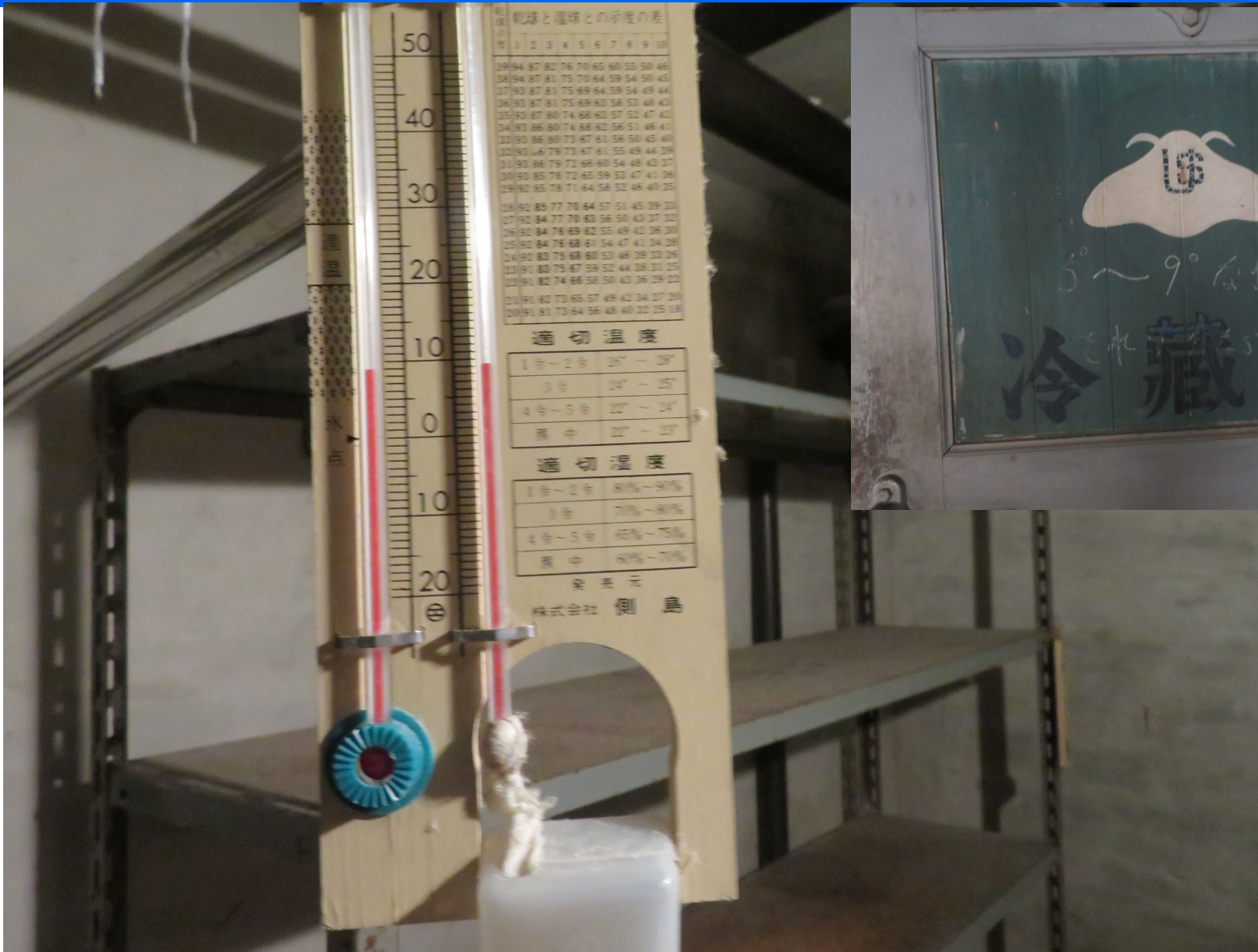
現役の蚕種製造企業



上田蚕種 宮本社長から話を聴く



蚕の卵 冷蔵保存



蚕の卵 催青(ふ化させる)



蚕の卵 カイコを育てる



蚕の卵 繭を切断、蛹を取り出す



蚕の卵 交配



蚕の卵 人工ふ化・洗い落とし



旧常田館製糸場の保全



炊事場(曳家前)2008年



木造四階繭倉庫(曳家後)

2008年

上田紬 カジュアルさの魅力



上田紬 カジュアルさの魅力

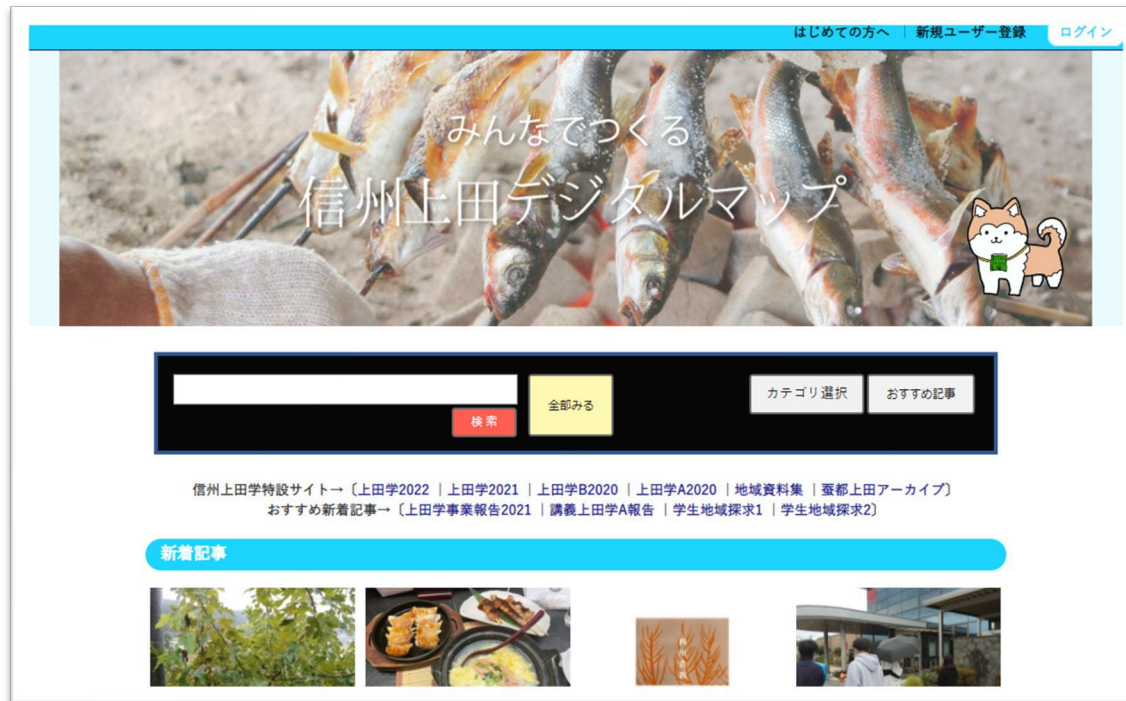


着物の魅力をイベントにして伝える 「キモノマルシェ in 上田」毎年10月開催



「蚕都」やその一次資料を調べるなら『信州上田デジタルマップ』を使おう！

・ 任意のキーワードで検索



The screenshot shows the homepage of the 'Shizuoka Utsunomiya Digital Map' website. At the top, there is a navigation bar with links for 'はじめての方へ' (For newcomers), '新規ユーザー登録' (New user registration), and 'ログイン' (Login). Below this is a large banner image featuring a close-up of several fish, likely salmon, with the text 'みんなで作る 信州上田デジタルマップ' (Made by everyone, Shizuoka Utsunomiya Digital Map) overlaid. A small cartoon illustration of a white dog and a brown dog is positioned on the right side of the banner. Underneath the banner is a search bar with a red '検索' (Search) button and a yellow '全部みる' (View all) button. To the right of the search bar are two buttons: 'カテゴリ選択' (Category selection) and 'おすすめ記事' (Recommended articles). Below the search bar, there is a list of links for '信州上田学特設サイト' (Shizuoka Utsunomiya University Special Site) with sub-links for '上田学2022', '上田学2021', '上田学B2020', '上田学A2020', '地域資料集', and '蚕都上田アーカイブ'. There is also a link for 'おすすめ新着記事' (Recommended new articles) with sub-links for '上田学事業報告2021', '講義上田学A報告', '学生地域探求1', and '学生地域探求2'. At the bottom, there is a section titled '新着記事' (New articles) with four thumbnail images: a green field, a plate of food, a field of wheat, and a building.




<https://d-commons.net/uedagaku/>

『藤本蚕業デジタル資料館』

- ・これをベースにキュレーションしてもよい

藤本蚕業

蚕種製造の中心地上塩尻の中でもその中核的存在だった佐藤家(藤本善右衛門)が1908年、企業「藤本蚕業」となり蚕種製造業を発展させた。



<https://d-commons.net/fujimoto/>

所蔵資料をいつでも
ネットに公開



藤本蚕業歴史館

旧藤本蚕業社屋の一部を歴史館(文書館兼博物館)として2009年に開館。近世・近現代の膨大な史料が保全されています。

地域史・産業史の生の資料群



日本の蚕種製造業を知る膨大な資料(史料)はデジタル化によりその活用がされることが期待されています。関係者の映像記録も集成し全国からアクセスできるデジタルアーカイブに進化させます。



<https://d-commons.net/fujimoto/>

上田市マルチメディア情報センター 上田市デジタルアーカイブポータルサイト

The screenshot shows the homepage of the Ueda City Digital Archive Portal Site. The header includes the site name and navigation tabs for HOME, Ueda City Activities, Digital Archive, Product Introduction, DVD/CD-ROM, Website, and Video Works. The main content area features a 'Product Introduction' section with a grid of video thumbnails. Each thumbnail includes a title and a 'Learn More' link. The thumbnails are arranged in two columns and four rows.

作品紹介

映像作品のご紹介

上田市の伝統文化や民話、広報番組を映像で記録しています。また過去に撮影された貴重なフィルムを交換・編集し、保存しています。収集作品一覧（リスト形式）はこちらをご覧ください。

作品の一覧

上田絣 伝統の技に歴史の風合いが息づく  さらに詳しく>>	現代に生きる蚕種製造技術  さらに詳しく>>
農民美術 農の心ここに輝く  さらに詳しく>>	上田飛行場と昭和初期の上田の街  さらに詳しく>>
上田地域の民話  さらに詳しく>>	上田市広報番組「ふれあい上田」  さらに詳しく>>
千曲川を渡る御柱 上田市堀川神社  さらに詳しく>>	上田の地石緑色凝灰岩  さらに詳しく>>

The screenshot shows the YouTube channel page for the Ueda City Multimedia Information Center. The channel name is '上田市マルチメディア情報センター' with 204 subscribers. The featured video is '鐘紡上田工場' (Kanebiki Ueda Factory), uploaded on May 13, 2014, with 1,090 views. The video thumbnail shows a factory building. The channel description mentions that the factory started operations in 1925.

上田 鐘紡

上田市マルチメディア情報センター
チャンネル登録者数 204人

チャンネル登録

鐘紡上田工場
1,090 回視聴 • 2014/05/13

上田市マルチメディア情報センター
チャンネル登録者数 204人

昭和12年に操業を開始した鐘紡上田工場の記録映像


<https://museum.umic.jp/>

<https://www.youtube.com/channel/UCeWnw2U0o4fkvvsXO3YiIMHQ>

信州上田シルクロードアーカイブ 蚕都上田プロジェクト

- ・「蚕都上田」にフォーカス 2009～
- ・地域学習活動記録をアーカイブ化
- ・オープンデータとして活用できる

信州上田シルクロードアーカイブ



目次

カテゴリフォルダ	カテゴリフォルダ ▾
地域フォルダ	地域フォルダ ▾
記録日フォルダ	記録日フォルダ ▾
登録日フォルダ	登録日フォルダ ▾

(最終更新日: 2018/10/21 : 300 件 [New!] 0 件)

オープンデータアーカイブ
本サイト掲載の一部のデータはCCライセンスで提供します。
観光振興・地域学習・地域づくり・地域紹介などにお役立てください。
[\[テーブルデータ\(TEXT\)\]](#) [\[RSS1.0データ\]](#)

信州上田シルクロードアーカイブ

学びあい講座・横浜編(3)日本初の生糸輸出は信州上田から

カテゴリ: [日本シルクロード学びあい横浜編2011](#) 地域: [横浜市](#)
(登録日: 2011/11/12 更新日: 2018/10/21)

講座「日本初の生糸輸出は信州上田から」ダイジェスト版



ダイジェスト版で講座の概略を描むことができます。

講座「日本初の生糸輸出は信州上田から」ノーカット版



<https://www.mmdb.net/silknet/archive/ueda/>

『上田老舗図鑑』滝澤主税編 (2004)



- 長野県地誌草案 (1877 明治10)
- 上田街諸名家一覽表 (1891 明治24)
- 上田市別所 田沢 沓掛 温泉 温泉電車案内 並二塩尻 全図 (1922 大正11)
- 上田市街宅地輕便地図 (1924 大正13)
- 『信州民報』掲載上田の老舗 (1955 昭和30~)

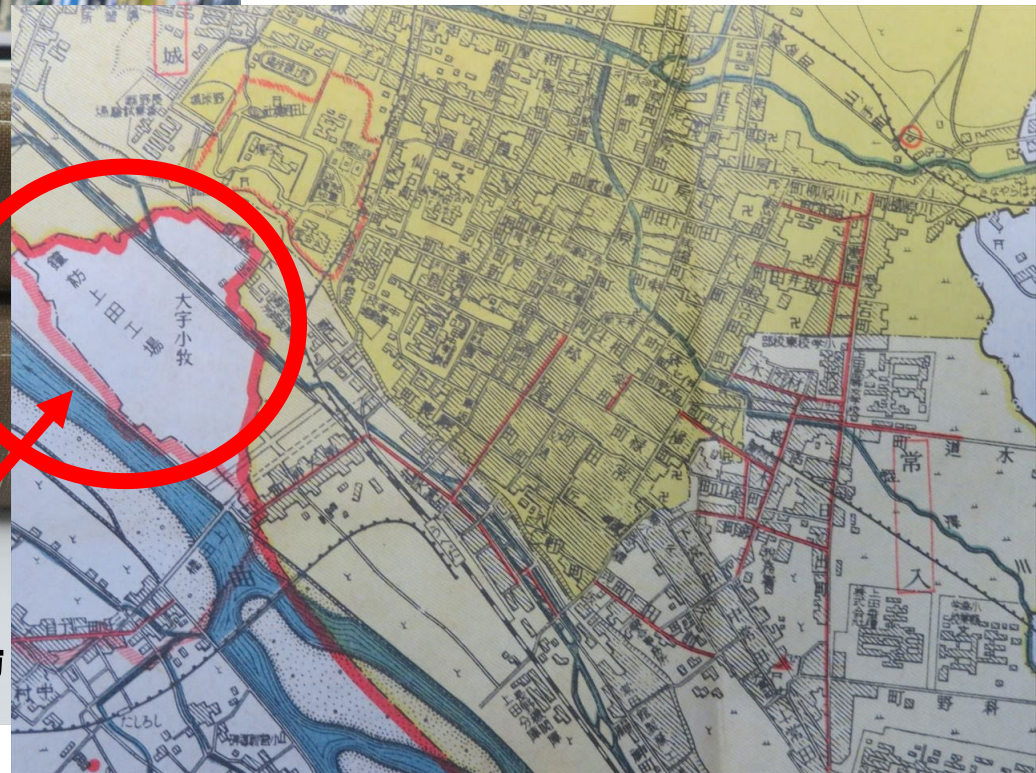


<https://d-commons.net/uedagaku/?c=&>

『上田市史(上下巻)』1940

著者: 藤澤直枝 (1870~1944)

- ・「与えられた歴史」ではなく、「自ら検証し見直す歴史」の参考に



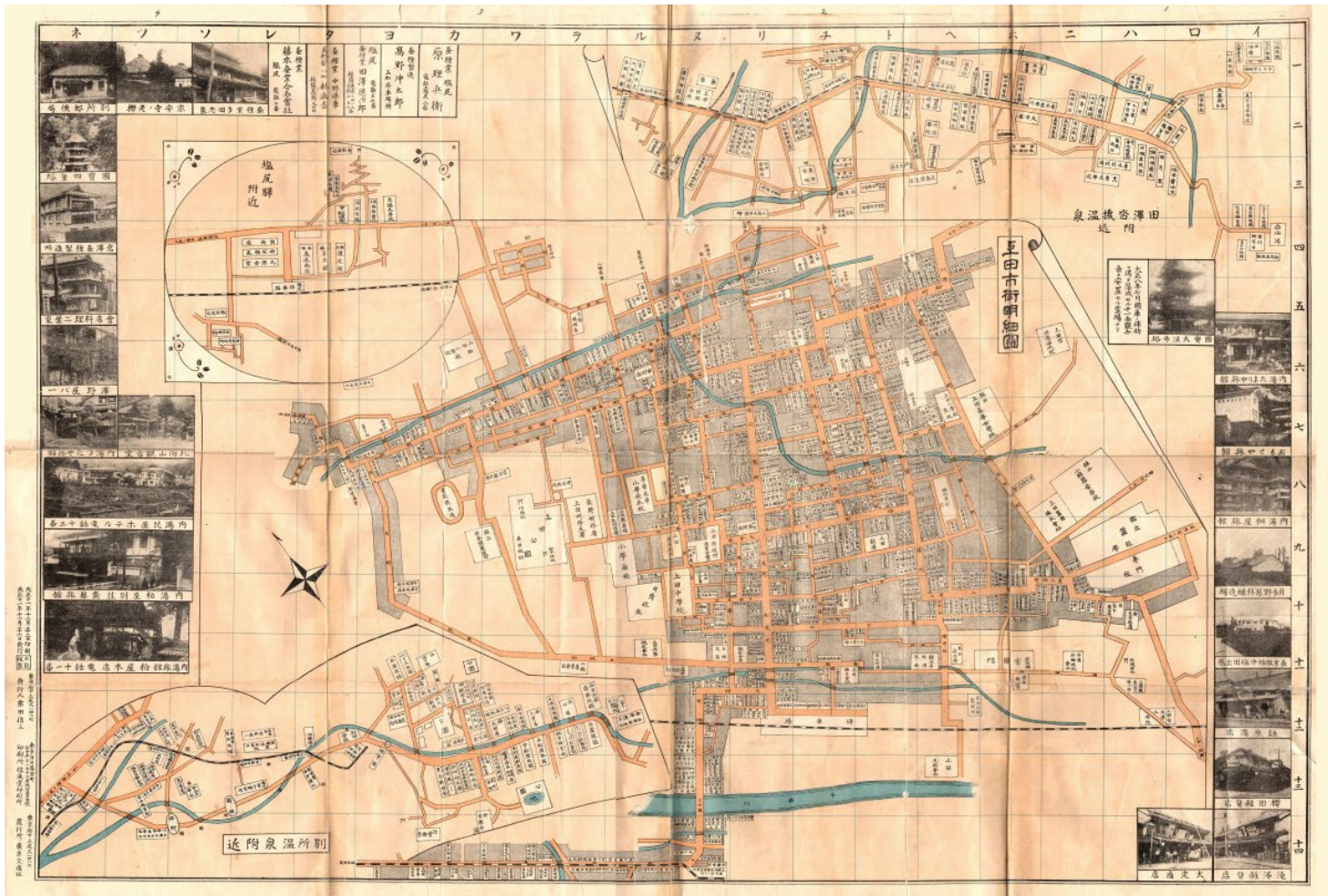
鐘紡上田工場
日本専売公社上田工場
アリオとサントミュージゼ

【上巻】 <https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=2353>

【下巻】 <https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=2354>

上田市明細図 1922年

- <https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=3116>



『上田市誌』上田年表

- 上田市マルチメディア情報センターと長野大学（信州上田学）により刊行物をテキストコード化
- 本講受講生に限定しデータ供与Excel形式
- Classroomからダウンロードすること

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	記事ID	順番	地域	時代	今	西暦	和暦	記事	分類	備考・訂正	投稿者	修正者	登録日時	修正日時
2	1	10	上田市	地質時代・縄文時代	1,600	万年前	ころ	独結山北の弘法山一帯が海部にあつて噴火したころ、斜長石2個の粗晶ちがいが石	ちがいが石		市誌			
3	2	20	上田市	地質時代・縄文時代	1,400	万年前	ころ	鴻の果一帯が海部だったころ、遠い所から運ばれてきた礫が堆積して鴻の果(青木君)が形成された	鴻の果		市誌			
4	3	30	上田市	地質時代・縄文時代	20,000	万年前	ころ	菅平高原や和田峠・大門峠周辺にナイフ形石器を中心とした後期旧石器文化が開けた			市誌			
5	4	40	上田市	地質時代・縄文時代	20,000	万年前	ころ	男女会遺跡や鷹山遺跡には、周辺から産出する黒曜石を使った石器の製作工跡がみられる	男女会		市誌			
6	5	50	上田市	地質時代・縄文時代	20,000	万年前	ころ	鷹山の星表村から由糸山斜面一帯にかけて、およそ2万年前の旧石器時代から縄文期にわたり黒曜石が採掘された(発掘により発見する)	黒曜石		市誌			
7	6	60	上田市	地質時代・縄文時代	15,000	万年前	ころ	このころ槍先形尖頭器を伴う石器文化が存在した	槍先尖頭器		市誌			
8	7	70	上田市	地質時代・縄文時代	13,000	万年前	ころ	細石器を木や骨にはの込んで利器とした細石器文化が、男女会や鷹山遺跡にあった	細石器		市誌			
9	8	80	上田市	地質時代・縄文時代	13,000	万年前	ころ	菅平高原などに、神子衆型石器と呼ばれる大型石器文化がみられた	大型石器		市誌			
10	9	90	上田市	地質時代・縄文時代	12,000	万年前	ころ	このころ、日本列島上に土器がつくれるようになり、各地に縄文文化がみられる			市誌			
11	10	100	上田市	地質時代・縄文時代	12,000	万年前	ころ	このころの縄文早期の土器は、丸底や尖り底の深鉢形で、食物を煮炊きするのに用いられた	縄文早期		市誌			
12	11	110	上田市	地質時代・縄文時代	12,000	万年前	ころ	土器の創出と同じころ狩猟の用具に有角尖頭器が使われるようになったが、やがて石鏡に移り変わる	石鏡		市誌			
13	12	120	上田市	地質時代・縄文時代	12,000	万年前	ころ	上田市域では、草創期の土器はまだ発見されていないが、この時代の有角尖頭器が出土している	有角尖頭器		市誌			
14	13	130	上田市	地質時代・縄文時代	12,000	万年前	ころ	上田盆地周辺も次第に温暖な気候となり、暖温帯落葉広葉樹林が広がっていたものとみられる	温暖		市誌			
15	14	140	上田市	地質時代・縄文時代	12,000	万年前	ころ	ドングリ類をはじめ豊富な木の果が採集され、人々の食料になった	木の果		市誌			
16	15	150	上田市	地質時代・縄文時代	7,000	万年前	ころ	縄文早期の土器は、尖底深鉢形で擦糸文・押型文・沈線文・貝紋垂線文・浴衣底文などがある	縄文早期		市誌			

上塩尻・蚕種製造民家群



蚕種製造民家群がこの規模で現存する地区は全国で唯一



<https://d-commons.net/uedagaku/?c=&s=%E4%B8%8A%E5%A1%A9%E5%B0%BB>

「信州上田デジタルマップ」から“蚕都上田”で調べてみよう！

藤本蚕業歴史館



藤本蚕業歴史館(館内)



第二会議室



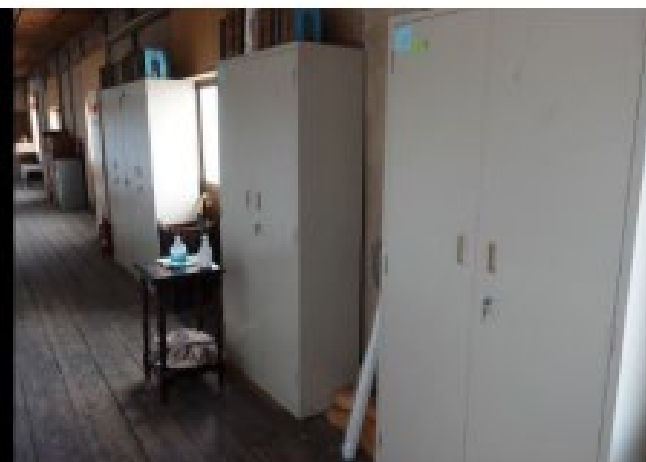
第三会議室



第四会議室



第五会議室



更衣室

藤本蚕業デジタルコモンズ ネットに公開



それぞれの文書には史料IDのラベルが貼られ、目録化されています。



藤本蚕業デジタルコモンズ

<https://d-commons.net/fujimoto-dc/>



「世界を救った蚕の卵」はヒント 蚕都を未来に活かす！

世界を救った信州、蚕都上田の蚕の卵

世界の記憶 未来に受け渡すかけがえのない宝

